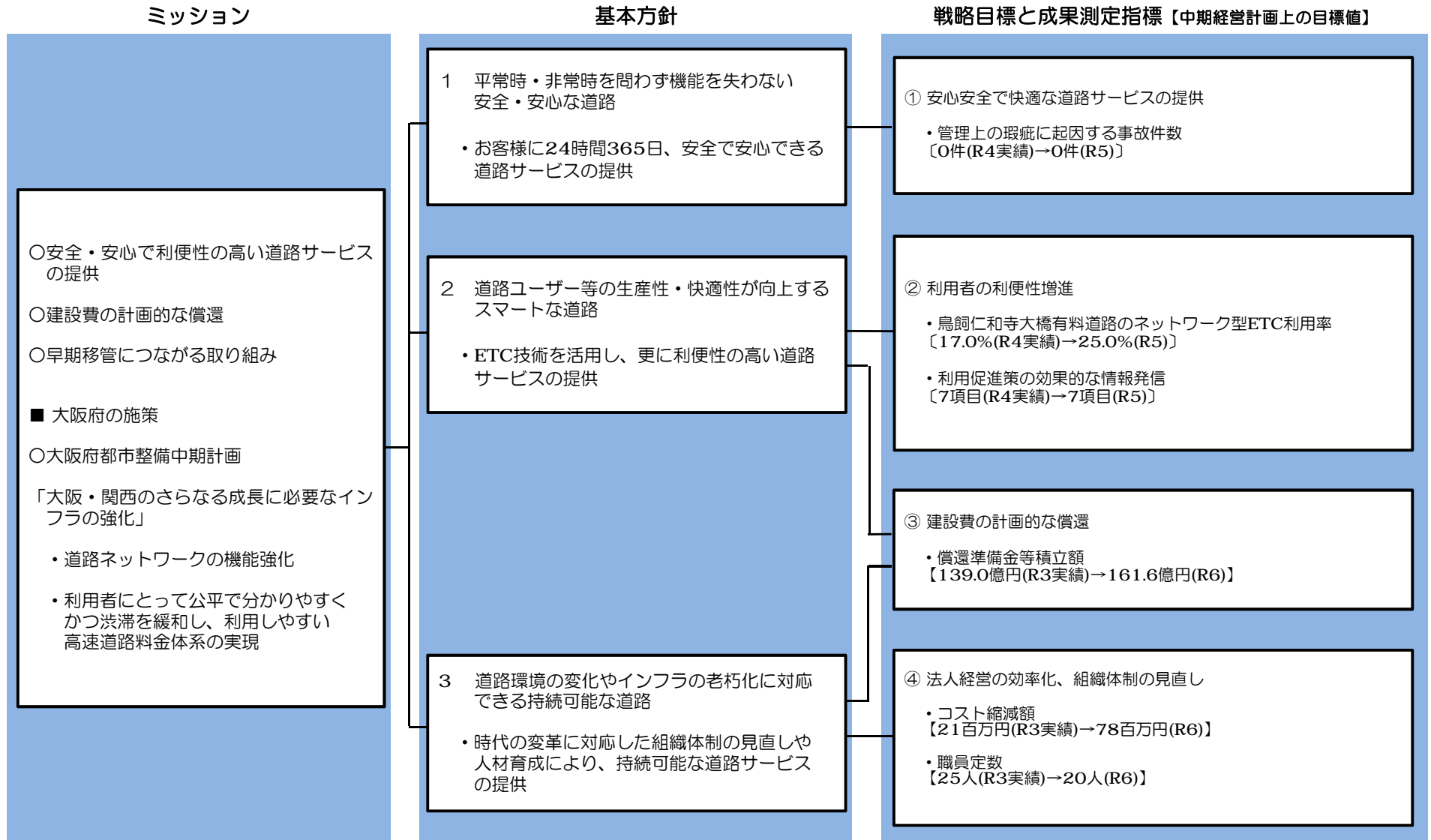


法人名	大阪府道路公社
作成（所管課）	道路室道路整備課

## ○ 経営目標設定の考え方



法人名	大阪府道路公社
-----	---------

○ 令和4年度の経営目標達成状況及び令和5年度経営目標設定表

I. 最重要目標(成果測定指標)												
戦略目標	成果測定指標	新規	単位	R4 ウエイト	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値 【見込値】	R5 目標値	R5 ウエイト	中期経営計画 (R4～R6)		R5目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合は、その理由も記載
										R5 目標値	最終年度 目標値	
③ 建設費の計画的な償還	償還準備金等積立額		億円	45	139.0	145.6	[147.8]	152.0	45	155.1	161.6	継続2路線(鳥飼仁和寺大橋有料道路、箕面有料道路)のR5年度の料金収入、維持管理費等の費用見通しに基づき算定
法人経営者の考え方(取組姿勢・決意)											戦略目標達成のための活動事項	
最重要とする理由、 経営上の位置付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道路公社は、道路管理者に代わって、府の出資金や国の貸付金、市中銀行等からの借入金により、道路整備・管理を有料道路事業として実施しており、定められた料金徴収期間に通行料金収入で建設費を償還し、料金徴収期間が終了した時点で、道路管理者に引継ぐことになる。</li> <li>○ 従って、建設費を着実に償還することが道路公社における事業の根幹であり、総合的な指標である「建設費の計画的な償還(償還準備金等積立額)」を最重要の経営目標とする。</li> </ul>										<p>中期経営計画(2022～2024)及び、お客様サービス向上戦略に基づき、以下の取組みを進めることにより、建設費の着実な償還を推進する。</p>	
最重要目標達成のための 組織の課題、改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 管理路線を適正な状態に保ち、安全・安心で利便性の高い道路サービスを提供するためには、責任ある道路の維持管理(道路施設や設備の定期的な点検、補修や更新などの対策)が必要となるが、無計画で場当たり的な維持管理では、多大な費用と時間が必要となる。</li> <li>○ 国の将来予測によると、自動車交通量(走行台・キロ)は減少傾向にあり、そういう状況の中で、管理路線を利用する交通量を確保し、安定的な収入の確保が必要となる。</li> </ul>										<p>①コスト削減の具体的な取組み ○これまで実施した維持管理方法の工夫、管理水準の見直しに併せて、新たな取組みを追加</p> <p>②利用促進の具体的な取組み ○鳥飼仁和寺大橋有料道路に導入したネットワーク型ETCの利用率向上を目指した情報発信 ○公社のホームページやTwitterを含む、ソーシャルメディアによる情報発信 ○NEXCO西日本のPA・SAなどの情報発信 ○イベント等での利便性等のPR活動 ○周辺の観光施設等と連携し、路線情報の発信 ○大阪府道路公社40周年記念イベントの取組み</p>	
活動方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ R4年3月に策定した「中期経営計画(2022～2024)」に基づくとともに、時代の変革や急激な社会情勢の変化にも柔軟に対応できるよう以下の取組みを行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 コスト削減の取組み 効率的・効果的な維持管理を実施するとともに、これにかかる維持管理費等について引き続き削減に取り組む。</li> <li>2 利用促進の取組み 商工会議所等とタイアップした取組みを行い、その内容をソーシャルメディアを通じて発信するとともに、大阪府と連携し、SA・PAなどの集客施設やイベント等で情報発信を行い、各路線の知名度の向上と利便性の周知に努める。</li> <li>3 安全・安心で利便性の高い道路サービス提供に向けた取組み 「大阪府道路公社維持管理方針」に掲げるライフサイクルコストを考慮した予防保全の考え方に基づき、効率的・効果的な維持管理を推進するとともに、事故・渋滞対策の推進、利用者ニーズ、社会情勢の変化を反映したサービス向上に努める。</li> </ul> </li> </ul>										<p>③安全・安心で利便性の高い道路サービスの提供に向けた具体的な取組み ○日常的な維持管理業務の着実な実施(防災・料金收受設備点検等) ○計画的な維持管理(箕面有料道路の非常電話設備更新工事等) ○利用者ニーズを反映したサービス向上及び社会情勢の変化への対応</p> <p>〔利用者に対する新型コロナウイルス感染防止対策 鳥飼仁和寺大橋有料道路のネットワーク型ETC利用率向上〕</p>	

法人名	大阪府道路公社
-----	---------

II. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	R4 ウエイト	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値 〔見込値〕	R5 目標値	R5 ウエイト	中期経営計画 (R4～R6)		R5目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合 は、その理由も記載	戦略目標達成のための活動事項
										R5 目標値	最終年度 目標値		
① 安全・安心で快適な道路サービスの提供	管理上の瑕疵に起因する事故件数		件	10	0	0	0	0	10	—	—	六ぼこ、路上障害物、雪氷、安全施設不備等の管理瑕疵に起因する事故発生防止のため、365日24時間の交通管理/パトロールに加え、公社職員による施設・設備の点検の実施により、事故発生ゼロを目標とする。	お客様の通行の安全性向上を第一に考え、パトロール実施などにより、絶えず管理瑕疵に起因する事故の発生防止を図る。道路構造物を常に良好な状態に保全し、構造物等施設点検の充実を図る。
② 利用者の利便性増進	鳥飼仁和寺大橋有料道路のネットワーク型ETC利用率		%	10	(6.3)	10.0	17.0	25.0	10	—	—	利用者からの感染を不安視する声やETC導入の要望が寄せられ、ネットワーク型ETCを導入したことから、利用者を増加させることで、より一層の整備効果を図るため、利用率向上を目標値とする。	ネットワーク型ETC導入の周知を図るため、料金所等での広報活動を実施すると共に、現金利用者に対する登録キャンペーンを実施し、ネットワーク型ETCへの転換を促進する検討を行う。
	利用促進策等の効果的な情報発信		項目	5	6	7	7	7	10	—	—	各路線の知名度や利便性の周知度の向上を図る利用促進策や路線情報の取り組みを行い、昨年度と同等の目標値とする。	路線の知名度や利便性の周知が効果的に図られるよう利用促進策や路線情報をYouTubeなどのSNSや広報誌などを活用して適切な時期に発信する。
	SNS広報の閲覧数		千人	5	(65)	70	77	—	—	—	—	—	—

III. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)

④ 法人経営の効率化、組織体制の見直し	コスト縮減額		百万円	10	21	7	12	15	10	28	78	これまで実施した維持管理方法の工夫、管理水準の見直し等によるコスト縮減の取り組みによる縮減見込額を計上(法人職員の人件費にかかるコスト縮減額を除く)	これまで実施した維持管理方法の工夫、管理水準の見直し等によるコスト縮減の実施を継続。
	職員定数		人	15	(25)	22	22	22	15	—	20	R3年度職員定数である25人に対し、中期経営計画期間内において5人の職員定数削減を設定。年度を通して職員定数が目標値を超えない場合に達成とする。	中期経営計画策定時において考慮していなかった質面有料道路の設備更新や交通量推計などの設計業務及び関係機関協議が新たに生じたことにより、R5年度内は現状維持することを目標とし、R6以降の更なる職員定数削減と人件費削減に向けて取り組む。

【凡例】

- ・☆はR5年度からの新規項目
- ・×は目標値未達成
- ・↓は前年度実績比マイナスの目標値
- ・〔 〕内の数値は、参考として記入した実績見込値
- ・( )内の数値は、当該年度の経営目標として設定していないため、参考として記入した実績値

法人名

大阪府道路公社

## CS調査の実施概要

## ○令和4年度の実施結果

調査内容	実施方法	アンケート等対象者	対象者数	実施時期
利用者アンケート調査	ネットリサーチによる	鳥飼仁和寺大橋有料道路	618人	令和4年12月

実施結果の主な内容	実施結果を踏まえた取組
<p>【鳥飼（令和4年度実施）】 総合的な満足度（5段階評価） <b>3.8（R1）⇒3.8（R4）</b> 評定（十分に満足：5）（やや満足：4）（普通：3）（やや不満：2）（非常に不満：1） 利用者の意見</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 便利（時間短縮）。使いやすい。混ん現いない。現在の管理状況を続けてほしい。</li><li>・ 通行料金減額及び無料化要望が大半。</li></ul>	<p>（結果を踏まえ実施した取組）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 毎日、就業前にミーティングを実施し、利用者からの声を共有することで利用者皆様へのサービス向上に取り組んでいる。</li></ul> <p>（今後実施予定の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ ネットワーク型ETC導入時から実施している料金割引に関する内容が周知されていない可能性があることから、新たなリーフレットを配布するなど情報発信に努める。</li></ul>

## ○令和5年度の実施方針

調査内容	実施方法	アンケート等対象者	対象者数	実施時期
利用者アンケート調査	ネットリサーチによる	箕面有料道路	800人	令和5年11月

法人名	大阪府道路公社
-----	---------

■ 成果測定指標変更（廃止）希望の理由について

〔1〕

●変更前

R4年度の 成果測定指標	単位	R4年度の 目標値
SNS広報の閲覧数	千人	70

●変更後

R5年度の 成果測定指標	単位	R5年度の 目標値
—	—	—

成果測定指標の 変更（廃止）を 希望する理由	<p>同じ戦略目標である「②利用者の利便性増進」の成果測定指標の一つに「利用促進策等の効果的な情報発信」があり、Twitterを含めて、幅広くSNSを活用した情報発信を行うこととし、「SNS広報の閲覧数」を廃止する。</p>
------------------------------	--

〔●〕

●変更前

R4年度の 成果測定指標	単位	R4年度の 目標値

●変更後

R5年度の 成果測定指標	単位	R5年度の 目標値

成果測定指標の 変更（廃止）を 希望する理由	
------------------------------	--

法人名

大阪府道路公社

■ 令和4年度実績比 マイナス（現状維持）目標の考え方について

〔1〕

成果測定指標	単位	R4年度の実績値〔見込値〕	R5年度の目標値
利用促進等の効果的な情報発信	項目	7	7

<p><b>マイナス （現状維持） 目標の考え方</b></p>	<p>項目数は同数であるが、令和5年度は利用促進を重点的に取り組むこととし、道路公社40周年記念イベントや箕面商工会議所などとの連携と合わせてSNSを活用した情報発信に努めるなど、より効果的でより難易度の高い利用促進策に取り組む。</p>
--	---

〔2〕

成果測定指標	単位	R4年度の実績値〔見込値〕	R5年度の目標値
職員定数	人	22	22

<p><b>マイナス （現状維持） 目標の考え方</b></p>	<p>中期経営計画策定時において考慮していなかった箕面有料道路の設備更新や交通量推計などの設計業務及び関係機関協議が新たに生じたため、令和5年度内は現状維持することを目標とする。</p>
--	---